

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
介護総合演習 V Care Practice Support V		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	介護福祉士養成課程の2年生のみ履修可
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
2年次前期までの必修科目、居宅介護実習Ⅲ以外の実習終了				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
久保由佳 和田晴美		福祉棟2階	各教員から説明します	授業中に指示します
授業の概要				
介護福祉士の資格を取得するには、本養成課程の指定科目をすべて修得し、国家試験（筆記試験）に合格することが必要である。本科目は、受験に必要な知識と効果的な学習方法を習得し、合格するための受験対策を中心としている。また、今期は居宅介護実習Ⅲとして、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）実習を一人2日間実施するため、この実習に関するオリエンテーションと反省会も行う。				
授業の目標				
①出題基準に照らし合わせた既習の学習内容を確認できるようにする。 ②模擬試験を活用した効果的な学習ができるようにする。 ③模擬試験において介護福祉士国家試験（筆記試験）の合格点をとることができるようにする。 ④認知症対応型共同生活介護（グループホーム）実習を通して、認知症高齢者に対する生活支援のあり方を説明できるようにする。				
授業の方法				
演習科目であるが、講義・模擬試験・グループ学習等を取り入れる形式である。				
学習の成果（学習成果）				
①効果的な学習方法を習得し、介護福祉士国家試験（筆記試験）の合格点をとることができる。 ②認知症対応型共同生活介護（グループホーム）に関する知識を踏まえ、グループホーム実習を行い、認知症高齢者に対する支援のあり方について述べるができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業のねらいと進め方・成績評価の方法など）、模擬試験や個別指導等の説明 国家試験の概要（公益財団法人社会福祉振興・試験センターのホームページ）と既習学習の確認			（久保）
第2回目	グループ学習① 第1回模擬試験（前期実施済み）を活用した自己分析、出題傾向の確認			（久保・和田）
第3回目	①居宅介護実習Ⅲの準備（実習方法と留意点を説明、実習記録一式配布） ②グループ学習② 第1回模擬試験（前期実施済み）を活用した各科目の要点の確認			（久保）
第4回目	第1回模擬試験（前期実施済み）の学生による解説、補足説明			（久保・和田）
第5回目	介護福祉士に関連する各法律の確認、各種データによる近年の動向等（模擬試験・過去問題等を活用して）			（久保・和田）
第6回目	第2回模擬試験（別日程を含む）			（久保・和田）

第7回目	グループ学習③ 第2回模擬試験を活用した自己分析、出題傾向の確認	(久保・和田)
第8回目	グループ学習④ 第2回模擬試験を活用した各科目の要点の確認	(久保・和田)
第9回目	第2回模擬試験の学生による解説、補足説明	(久保・和田)
第10回目	学力評価試験の解説、補足説明	(久保・和田)
第11回目	第3回模擬試験 (別日程を含む)	(久保・和田)
第12回目	第3回模擬試験の学生による解説、補足説明	(久保・和田)
第13回目	居宅介護実習Ⅲ 反省会・まとめ 【レポート：実習の振り返り(事前に記入し持参)、提出は授業終了時】	(久保)
第14回目	第4回模擬試験 (別日程を含む)	(久保・和田)
第15回目	第4回模擬試験の学生による解説、補足説明 国家試験に関する説明・準備	(久保・和田)
事前・事後学習	模擬問題集やワークブック、模擬試験等を活用し、繰り返し問題を解くこと。解答後は正誤の確認だけでなく、その根拠をテキストや参考書を使い調べること。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	S評価は、①毎回出席し、自主的にメモをとっている。②グループ学習に真面目に取り組み、わからないことは積極的に質問している。③実習反省会時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。
レポート	10%	第13回目にレポートを課す。S評価のレポートは、グループホーム実習を振り返り、学びや気づきが具体的に記述されていること。テーマに沿って自分の考えがまとめられていること。反省会時に持参していること。
調査報告書		
小テスト		
試験	20%	模擬試験を3回(第2回・第3回・第4回)実施する。3回分の模擬試験結果が90点以上の場合、S評価とする。
発表内容(態度含む)	20%	模擬試験後の学生による解説時には、事前に調べるべく説明している。実習反省会では、提示された項目について適切にまとめ、発表している。
その他	10%	指示されたテキスト類を毎回準備している。
教科書と参考図書		
①「介護福祉士国家試験模擬問題集 2020」中央法規出版 ②「介護福祉士国家試験受験ワークブック 2020 上・下」中央法規出版 ③「介護福祉士国家試験らくらく暗記マスター 2020」中央法規出版 その他、各授業のテキストや参考書、配布資料等、すべて活用する。		
履修上の留意点・ルール		
●実務経験 久保(職種：介護福祉士、職歴：通算6年)、和田(職種：看護師、職歴：通算10年) 合格点を取得するために、自主的かつ積極的に取り組んでほしい。また、授業以外の時間も有効に活用すること。模擬試験は居宅介護実習や就職活動等の状況により、日程を調整する。国家試験の準備に関しては、時期に応じて随時説明していく。重要書類が多いため、保管や紛失に十分注意すること。		